

令和4年度第4回和水町地域公共交通会議 次第

日時：令和5年3月23日（木）

午前10時

場所：和水町中央公民館 大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 委嘱状交付

4 議 事

報告第1号 あいのりくんの無料運行について

報告第2号 和水町地域公共交通計画策定調査業務について

5 その他

- ・ 熊本県交通政策課からのお知らせ
- ・ 委員の任期（～R6.3.31）について

6 閉 会

令和4年度 和水町地域公共交通会議 委員名簿

No.	組織・団体名	役職	氏 名	
1	和水町	総務課長	石原 康司	【会長】
2	産交バス株式会社	玉名営業所長	宮島 雅彦	
3	有限会社高瀬合同タクシー	執行部長	高松 清二	
4	有限会社三加和タクシー	代表取締役	西本 朗	
5	一般社団法人熊本県バス協会	専務理事	富田 廣志	
6	一般社団法人熊本県タクシー協会	事務局長	齊藤 ゆか	
7	和水町区長会	中央校区代表区長	小出 正泰	
8	和水町区長会	南校区代表区長	南 幸利	
9	和水町区長会	東校区代表区長	庄山 隆雄	
10	和水町区長会	西校区代表区長	荒木 清也	
11	和水町区長会	緑校区代表区長	福山 猛	
12	和水町区長会	神尾校区代表区長	池田 崇	
13	和水町区長会	春富校区代表区長	小山 暁	
14	和水町老人クラブ連合会	会長	平居 俊博	
15	和水町民生委員・児童委員協議会	会長	豊後 力	
16	和水町商工会	副会長	木部 礼一	
17	和水町地域婦人会	会長	坂本 由美子	
18	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整担当)	白石 勇人	
19	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	田村 正宜	
20	全九州産業交通労働組合	副執行委員長	貢 博之	
21	熊本県自動車交通労働組合	執行委員長	野田 大輔	
22	熊本県 県北広域本部 玉名地域振興局 土木部	維持管理調整課長	山道 広人	
23	和水町	建設課長	中嶋 啓晴	
24	熊本県警察 玉名警察署	交通課長	星子 博秋	
25	国立大学法人 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	センター長・教授・博士	柿本 竜治	
26	熊本県企画振興部 交通政策・情報局 交通政策課	課長補佐	高松 江三子	
27	和水町社会福祉協議会	事務局長	坂本 一恵	
28	事務局 (和水町まちづくり推進課)	事務局長(課長)	坂口 圭介	
29		係長	一 はるみ	
30		主事	戸上 健太	
31		主事	源 成弥	

報告第 1 号

あいのりくんの無料運行について (令和 5 年 2 月末時点)

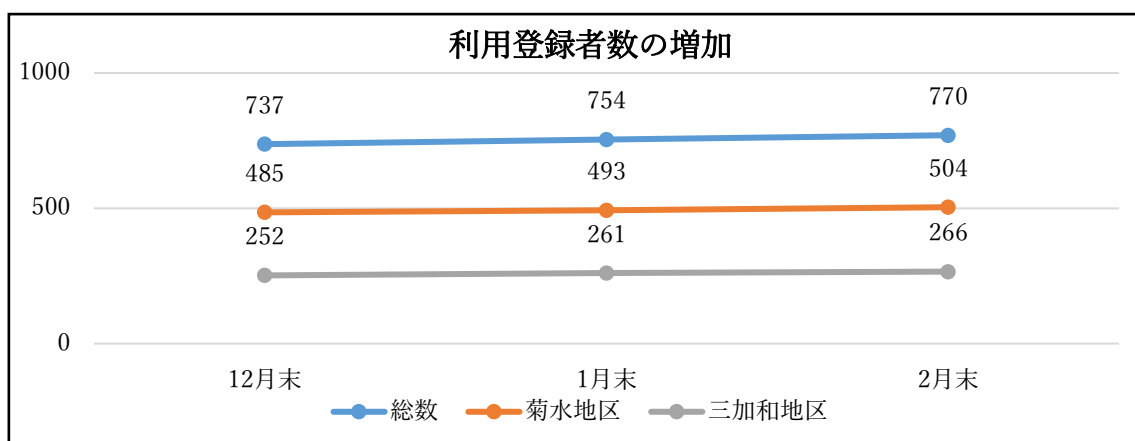
1 利用登録者数

利用登録者は、無料運行開始前の 12 月末時点と比較すると、2 か月間で 33 人増 (4. 47%増) となり、菊水地区は 19 人増 (3. 91%増)、三加和地区は 14 人増 (5. 55%増) であった。

年齢別では、59 歳未満の新規登録者数は少なく、75 歳以上の新規登録者数が多いことから、無料運行に伴い高齢者層のニーズが高まったことが分かる。

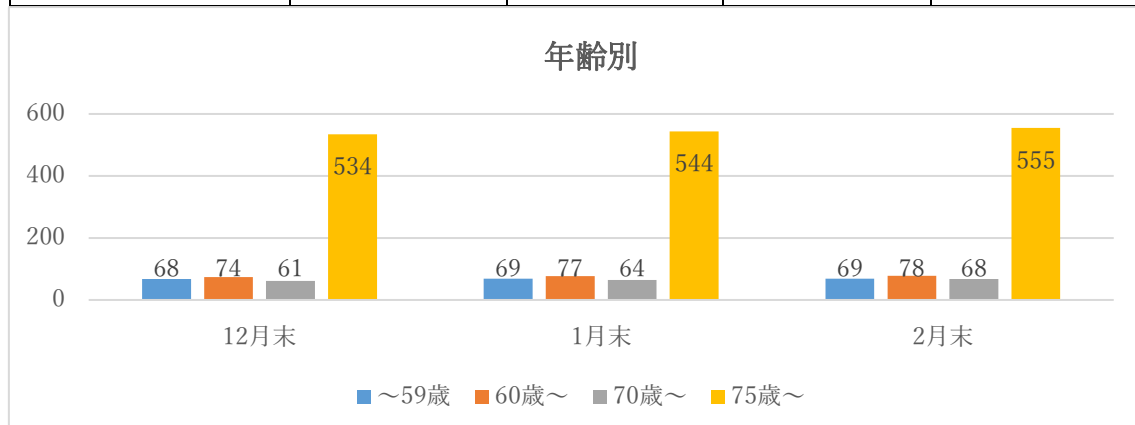
《利用登録者数》

	登録者総数	菊水地区	三加和地区
令和 4 年 12 月末	737 人	485 人	252 人
令和 5 年 1 月末	754 人 (+17)	493 人 (+8)	261 人 (+9)
令和 5 年 2 月末	770 人 (+16)	504 人 (+11)	266 人 (+5)



《年齢別増減表》

	～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳～74 歳	75 歳～
令和 4 年 12 月末	68 人	74 人	61 人	534 人
令和 5 年 1 月末	69 人 (+1)	77 人 (+3)	64 人 (+3)	544 人 (+10)
令和 5 年 2 月末	69 人 (±0)	78 人 (+1)	68 人 (+4)	555 人 (+11)

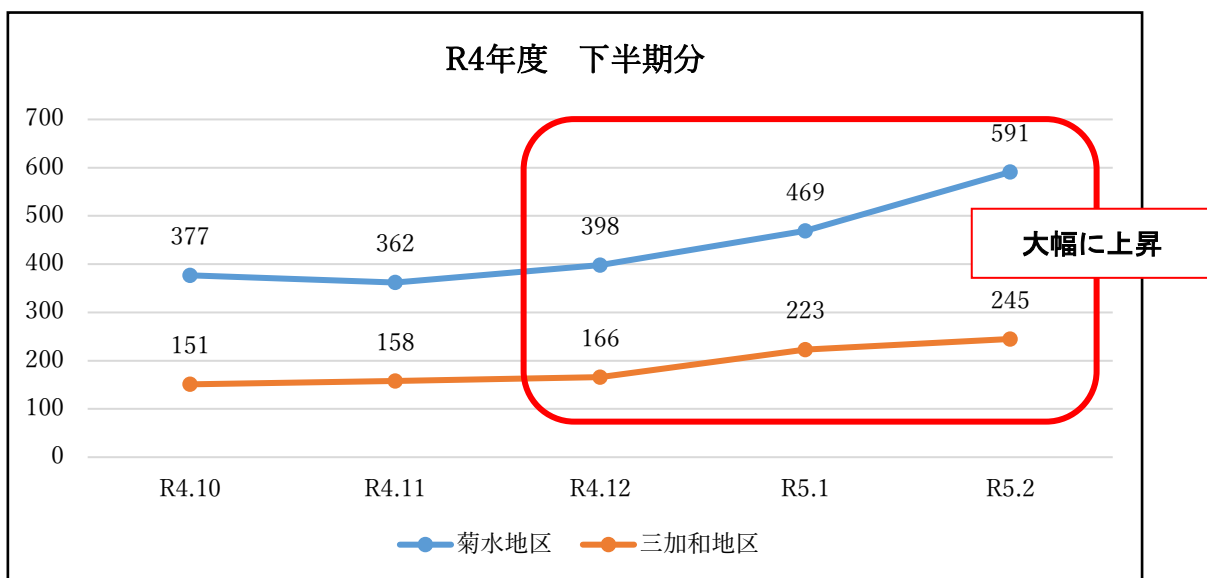
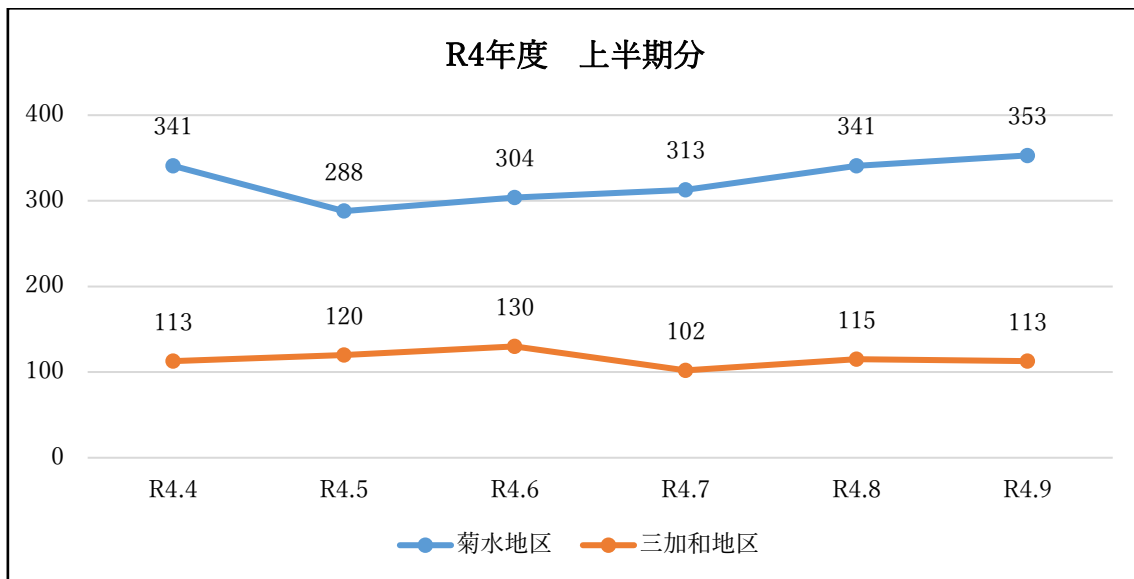


2 新規利用者の数

無料運行期間の新規利用者(初めて利用があった方)は、令和5年1月が12人(菊水地区:5人、三加和地区:7人)、令和5年2月が10人(菊水地区:9人、三加和地区:1人)となっている。

3 予約件数

予約件数は、菊水地区、三加和地区ともに10月以降伸びており、特に12月以降は大幅な伸び率となっている。



無料運行が終了する4月以降、一定数の新規利用者の定着も考えられるが、1月～3月の無料運行と比較すると、件数の減少が予測されるため、減少幅を抑えることができるよう、広報紙による周知や団体の会合等に出向いての制度説明等による利用促進策を図っていく。

熊本県地域公共交通計画の数値指標のモニタリング・評価について

1 概 要

熊本県地域公共交通計画（令和3年3月策定、令和4年3月一部改訂）において、計画の達成状況を評価するための数値指標を設定しており、令和3年度の数値について、モニタリング・評価を行う。

2 数値指標のモニタリング結果及び評価

（1）目標①「持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」の達成を測る指標

【モニタリング結果】

数値指標	R元年度 (策定時)	R2年度 (参考値)	R3年度	R4年度	目標値 (R7年度)
幹線公共交通利用者数の維持					
指標Ⅰ：路線バスの年間輸送人員	26,737 千人/年	19,225 千人/年	20,211 千人/年	—	26,737 千人/年以上
指標Ⅱ：鉄道の年間輸送人員	3,611 千人/年	2,355※1 千人/年	2,619※1 千人/年	—	3,813※2 千人/年以上
幹線公共交通の収益性の向上					
指標Ⅲ：路線バスの収支率	63.9%	49.7%	53.5%	—	63.9%以上
指標Ⅳ：鉄道の収支率	71.2%	57.8%	57.9%	—	71.2%以上
利用者一人当たりの行政負担額の縮減					
指標Ⅴ：路線バス利用者一人当たりの行政負担額	113円	187円※3	179円※3	—	113円/人以下
広域での地域公共交通計画数の増加					
指標Ⅵ：複数市町村にまたがる地域公共交通計画の数	3 (R2年度末)	3	3	3	7以上

※1 令和2年7月豪雨の影響で、肥薩おれんじ鉄道は令和2年10月31日まで一部不通。令和2年11月1日運行再開。くま川鉄道は、令和3年11月27日まで不通。令和3年11月28日部分運行再開。

※2 南阿蘇鉄道は熊本地震以前の平成27年度、他社は令和元年度の輸送人員の合計。

※3 新型コロナの減収に対する臨時的な支援金（コロナ臨時交付金等）を含む。

【評価】

令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛及びインバウンドの消失などにより、路線バス・鉄道ともに輸送人員が大幅に減少。また、輸送人員の減少による収入の減少や燃料価格の高騰等により収支率も悪化し、非常に厳しい状況となっている。

目標を達成するために、利用者のニーズに応じたサービスの維持・向上を図り、公共交通の利用者の増加（回復）に向けた取組みを着実に進めていく必要がある。

(2) 目標②「輸送資源の総動員によるコミュニティ交通の充実」の達成を測る指標

【モニタリング結果】

数値指標	R 元年度 (策定時)	R2 年度 (参考値)	R3 年度	R4 年度	目標値 (R7 年度)
コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進					
指標Ⅶ：コミュニティ交通 施策の新規導入・サービス 見直しを行った市町村数	—	—	17 市町村	—	45 市町村
コミュニティ交通利用者数の増加					
指標Ⅷ：コミュニティ交通 の年間利用者数	694 千人/年	555 千人/年	564 千人/年	—	694 千人/年以上

【評価】

コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数について、17 市町村にとどまっている。

コミュニティ交通の年間利用者数は、令和 2 年度及び令和 3 年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等により輸送人員が大きく減少。

県民の移動ニーズの把握による、路線・ダイヤ・サービスの見直しを積極的に行い、コミュニティ交通の利用者増に取り組んでいく必要がある。

(取組状況については、資料 3 のとおり)

(3) 目標①・②の達成を測る共通指標

数値指標	R 元年度 (策定時)	R2 年度 (参考値)	R3 年度	R4 年度	目標値 (R7 年度)
公共交通に対する県民満足度の向上					
指標Ⅸ：県民アンケート における公共交通に対す る県民満足度	—	—	23.1%	23.4%	25.0%以上

【評価】

令和 4 年度は令和 3 年度と比較し 0.3%の増加にとどまった。目標値の達成に向け、事業者・市町村と連携のうえ、利用者ニーズの把握とサービスの向上を図る。

各地域の住民ニーズへの対応に向けては、地域の実情に応じたコミュニティ交通の充実や新たなモビリティ技術の活用が図られるよう市町村を支援する。

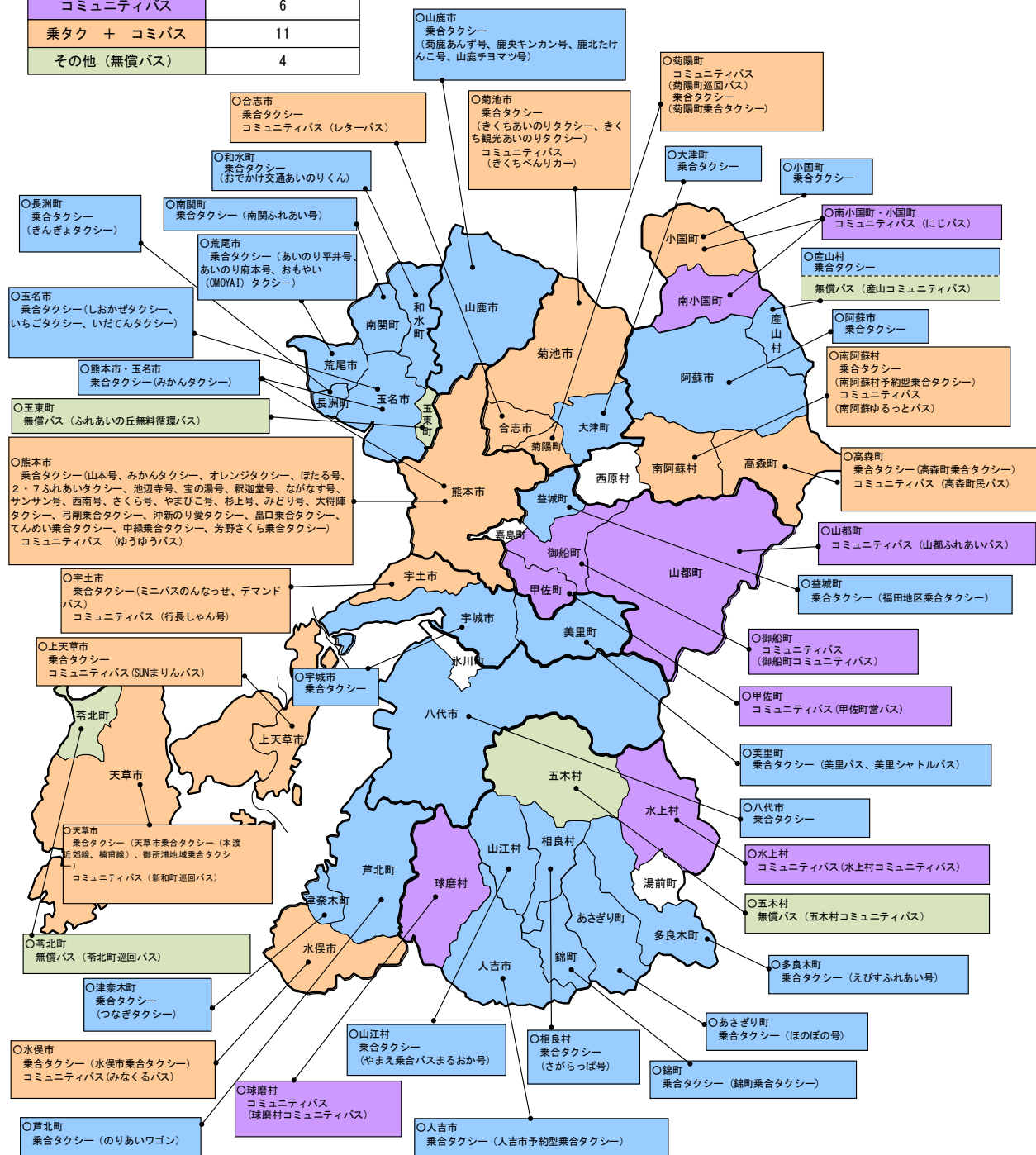
【参考】県内市町村のコミュニティ交通への取組状況

県内市町村では、それぞれの地域においてコミュニティバスや乗合タクシーなどが導入されており、利用ニーズに応じたサービスの見直し等も進められている。

【令和 4 年度における主な取組み事例】

- ・天草市：栖本地区における AI オンデマンド乗合タクシーの実証運行（8 月～）
- ・阿蘇市：自家用有償旅客運送実証運行（10 月）
- ・益城町：津森地区における乗合タクシーの実証運行（11 月～）

乗合タクシー	21
コミュニティバス	6
乗タク + コミバス	11
その他（無償バス）	4



▲本県におけるコミュニティ交通の導入状況

※出典：令和4年度市町村交通施策状況調査（熊本県）